

## 第3回神戸川の河川環境に関する専門委員会 議事要旨

【日 時】 平成24年10月12日(金) 13:30～16:40

【場 所】 くにびきメッセ 1階 多目的ホール

【出席者】 別紙出席者名簿のとおり

【傍聴者】 20名

【内 容】

### ■議事

- (1)前回の委員意見の対応について
  - (2)来島ダムからの放流量の検証について
  - (3)神戸川の水質について
  - (4)アンケート調査について
- 国土交通省、島根県より説明。

(質疑応答)

- ・資料2-3で、昭和63年から平成3年までの間で、流量データの不明の日数が多かった理由は。(野中委員長)  
⇒当時の中国電力の放流の考え方では、1日に1回流量を確認し、基準を満たしていなければ不足分を来島ダムから放流することになる。しかし、来島ダムから馬木地点までの到達時間が24時間かかるため、その日のうちには流量は回復しない。そのため、そういった現象が起きたのではないかと考えられる。(島根県)
- ・資料3-2について、表層・中層・底層という表現をしているが、これであれば実際の水深が分からないため、EL(地盤高)表記してほしい。(清家委員)  
⇒参考資料-3で表記している。(島根県)
- ・できれば資料3-2も参考資料-3に合わせてほしい。国交省のデータで水温鉛直分布の結果を示しているが、こういう風に表してほしい。それと、単に春・夏・秋とするのではなく、月日も入れてほしい。(清家委員)  
⇒そのように整理する。(島根県)
- ・資料3-2 P19のリンのデータについて、これは現地です過をしているのか。環境条件によっては、溶存性のものは必ず現地です過をしないと、正確な現地の値を示すことができない。持ち帰っている間に変化してしまう。(清家委員)  
⇒採取方法については確認させていただきたい。(島根県)
- ・サンプリング方法はとても重要。データを見ると、持ち帰ってろ過しているのではないかと思う。(清家委員)

・資料3-2について、鉄・マンガンのデーターは、これまでは分析をされなかったのか。今年のデーターでは7月以降は下層についてはしていると思うが。(清家委員)

⇒鉄・マンガンについては行っていない。今回は中国電力で経年的に調査を行っている8項目について提示させていただいた。(島根県)

・資料3-2について、鉛直データーのとり方についても、表層・中層・底層だけでなく、もう少し細かく1mピッチで調べるとか、今はセンサーで水温やDO等観測できるので、是非そのようにしていただきたい。これだけでは十分理解できない。(清家委員)

⇒過去からのデーターであるため、十分でない点もある。少なくとも表層と底層については水深等が分かっているが、中層については採水の方法等あるため、明確にできない部分もあるかもしれないが、精度を上げたいと考えている。

また、データーのまとめ方については、相談させていただきたい。(島根県)

・参考-3の例えばP3で、取水口付近の一番下のデーターが中層となっているが、底層はもっと下にあるのではないか。データーが抜けているのでは。(檜谷委員)

⇒データーを確認させていただきたい。(島根県)

・資料3-1の、定点観測結果一覧について、「⑤:苔の状況」・「⑥:藻の状況」はどの様に区分されたのかお聞きしたい。(中野委員)

⇒「苔」は石に付着している苔ということで観測している。「藻」はカナダモが付いているかいないかを目視により観測している。(国交省)

・これは、どこかの調査機関で調査されたのか。それとも国交省で調査されたのか。

というのは、「苔」という言葉が出ているが、これは苔ではなく藻類である。また、「藻」は水草である。この区別もできていない調査ではコメントできない。どういう状況で調査されたのかお聞きしたい。(中野委員)

⇒大谷先生のコメントにも、「苔」や「藻」という表現が学術上不正確な表現であるとおっしゃっているが、一般的に藻が付いたとか苔が付いたとか言われ方をされているので、その方が分かりやすいということで、学術的というよりはそういう呼ばれ方をしているため、この言葉を使っている。返って混乱するような表現を使用し申し訳ない。(国交省)

・河川における付着物調査の写真2で、緑の付着物とあり、これは「ホメオスリクス ヤンシーナ」と判断しているが、「ホメオスリクス ヤンシーナ」は青黒い色をしているため、私はそのように思えない。

「ホメオスリクス ヤンシーナ」というのは、アユの餌として6月から9月ごろアユが遡上するときの、成長するときの餌として非常に重要なものである。どの程度どの様に付いていたのか状況がほしい。(中野委員)

また、志津見ダムを建設する前に、志津見ダムから一番下流までの水質・生物調査を行っているはず。一般的にダムを建設する前には調査をしているはずなので、そういったデータもあるのではないか。(中野委員)

⇒水質の調査については、今回の資料で経年的なデータを提示している。(国交省)

・水質だけでなく、生物に関しても調査しているのではないかと考えているため、詳しいデータがあるのならば見せてほしい。(中野委員)

⇒志津見ダム建設の影響について調査はしており、生物などのデータはある。しかし、今回は神戸川の水質に絞って資料を用意してほしいということであったため、提示していない。志津見ダムについては、平成20年度から水生生物や昆虫類等生物の調査を行っている。それ以前の資料については調べてみないとわからないので確認し、詳しいデータとともに個別に説明させていただきたい。(国交省)

・参考-3のデータの表示について、最下層の位置が合っていない。本来ならば下から合わす必要がある。もう少し整理していただけないか。

また、どのラインが底になるのか表示されていない。国交省のデータはその辺りが表示されているので、参考にさせていただきたい。(清家委員)

⇒表現方法については、相談させていただきたい。(島根県)

・来島ダムの水質資料について、測定しているのは昭和48年からということであるが、今回提示されたのは平成元年から。発表者からの話もあったが、最初はきれいだったが、最近は汚くなったという話もあるため、平成元年以前のデータも提供させていただきたい。(檜谷委員)

⇒次回お示しさせていただきたい。(島根県)